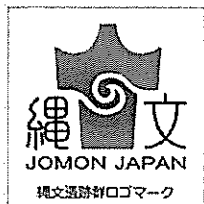




報道発表資料の配付日時 2月 5日 (金) 15時00分

発表項目 (行事名)	「縄文春まつり2021 inチカホ」 及び「世界遺産登録推進フォーラム」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
概要	道民の皆さまに縄文文化に対する理解を深めていただき、世界遺産登録実現に向けた気運を高めることを目的に、次のとおり「縄文春まつり」及び「世界遺産登録推進フォーラム」を開催します。 ●縄文春まつり2021 inチカホ 1 日 時 令和3年(2021年)3月5日(金)~7日(日) 9:00~19:00 ※初日は11時開始、最終日は17時終了 2 場 所 札幌駅前通地下歩行空間(チカホ) 北3条交差点広場 3 主 催 北海道、縄文遺跡群世界遺産登録推進本部、北の縄文道民会議、縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す北海道議会議員連盟 4 内 容 (1) 出土品展示<北海道・北東北出土の土偶等11点>※ レプリカ (2) ARパネル展示 (3) 縄文トランスプロジェクション (協力:北翔大学) (4) おうちで縄文ワークショップ (協力:札幌国際大学、北海道埋蔵文化財センター) ●「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進フォーラム 縄文遺跡群のこれから ~登録を見据えた活用を考える~ 1 日 時 令和3年(2021年)3月7日(日) 13:00~15:30 2 場 所 札幌グランドホテル 2階「金枝」(札幌市中央区北1西4) 3 主 催 縄文遺跡群世界遺産登録推進本部、縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す北海道議会議員連盟、北海道、北の縄文道民会議 4 内 容 (1) 第1部 基調講演 13:10~14:00 『縄文遺跡群と現代世界 一縄文人から学ぶべきこと一』 北海道博物館長 石森 秀三 氏 (2) 第2部 パネルディスカッション 14:10~15:30 縄文遺跡群の登録を見据えた活用について考えます。 5 その他 ※詳細は別紙をご覧ください ・事前申込みが必要です。(定員80名) ・当日は、YouTubeライブによる同時配信を行います。 ・新型コロナウイルスの感染状況により、リモートのみで開催となる場合があります。	発表場所	



報道(取材)に当たって	多くの方々にお越しいただきたいので、積極的な報道をお願いします。 詳細は北海道縄文世界遺産推進室のHPをご覧ください。 (http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/springfest2021.htm)
-------------	--

他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク
-----------	------------------

担当(連絡先)	環境生活部 縄文世界遺産推進室(担当者:主幹 島村哲也) TEL ダイヤルイン 011-204-5168 011-231-4111(内線24-142)
---------	---

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進フォーラム 開催要領
縄文遺跡群のこれから ～登録を見据えた活用を考える～

1 目的

縄文文化及び縄文遺跡群に関する公開講演等を通して、広く道民に「北海道・北東北の縄文遺跡群」に対する理解を深める機会を提供し、同遺跡群の世界文化遺産登録を見据えた、これからの活用について考える。

2 主催

縄文遺跡群世界遺産登録推進本部、縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す北海道議会議員連盟、北海道、北の縄文道民会議

3 開催日時

令和3年 3月7日(日) 13:00～15:30

4 開催場所

札幌グランドホテル 「金枝」(募集定員 80名/会場定員 288名)

※リモート開催について

- ・YouTube ライブによる同時配信
- ・フォーラム終了後、一定期間アーカイブを一般公開する

5 実施内容

(1) 主催者挨拶 (13:00～13:10)

(2) 第1部 基調講演 (13:10～14:00)

「縄文遺跡群と現代世界 ―縄文人から学ぶべきこと―

講師 北海道博物館長 石森 秀三 氏

(休憩 14:00～14:10 …… DVD上映)

(3) 第2部 パネルディスカッション (14:10～15:30)

・パネリスト

「北海道の縄文世界遺産の活用のあり方に関する懇談会」構成員

阿部 千春 氏 (一財)道南歴史文化振興財団

池ノ上真一 氏 札幌国際大学観光学部 教授

臼井 栄三 氏 北海道教育大学 非常勤講師

戎谷 侑男 氏 (株)シーピーツアーズ 代表取締役社長

佐賀 彩美 氏 (一社)北海道開発技術センター 研究員

・コメンテーター

石森 秀三 氏 北海道博物館長

進 行： 塚田みゆき (環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室長)

総合司会： 山口 由美 (フリーアナウンサー)

6 その他

事前申込み制

申込みフォームまたはメール (kansei.bunka@pref.hokkaido.lg.jp) から氏名、連絡先を明記の上申込み。

※リモート視聴は事前申込み不要。

縄文春まつり 2021 in 千カ木

企画概要

1 趣旨

縄文文化及び縄文遺跡群に関する出土品や解説パネル等の展示を通じ、広く道民に世界遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」への理解を深める機会を提供する。

2 主催

北海道、縄文遺跡群世界遺産登録推進本部、北の縄文道民会議、
縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す北海道議会議員連盟

3 日時

令和3年(2021年) 3月5日(金)～7日(日) 10:00～19:00
(初日は11:00から、最終日は17:00まで)

4 会場

札幌駅前通地下歩行空間 北3条交差点広場

5 内容

(1) 出土品(レプリカ)の展示

○道内の出土品

- ・国宝 中空土偶(函館市著保内野遺跡)
- ・重要文化財 人形装飾付異形注口土器(北斗市茂辺地遺跡)
- ・重要文化財 動物形土製品(千歳市美々4遺跡)
- ・北海道指定有形文化財 土偶(根室市初田牛20遺跡)
- ・北海道指定有形文化財 土偶(新ひだか町静内御殿山墳墓群)
- ・札幌市指定有形文化財 土偶(札幌市N30遺跡)
- ・土偶(木古内町新道4遺跡)

○道外の出土品

- ・国宝 合掌土偶(八戸市風張1遺跡)
- ・重要文化財 大型板状土偶(青森市三内丸山遺跡)
- ・重要文化財 遮光器土偶(つがる市亀ヶ岡石器時代遺跡)
- ・重要文化財 遮光器土偶(盛岡市手代森遺跡)

(2) パネル展示

展示品の見どころや世界遺産登録に向けた取組の紹介、ARコンテンツの展示

(3) おうちで縄文ワークショップ(札幌国際大学、北海道埋蔵文化財センター)

自宅で楽しめるお持ち帰り用のワークショップセットを配布

(4) 縄文トランスプロジェクション(北翔大学)

北翔大学芸術学科生の自由な発想で創作されたプロジェクションマッピング作品

函館市

大船遺跡

函館市教育委員会提供

函館市

垣ノ島遺跡

函館市教育委員会提供

伊達市

北黄金貝塚

大船遺跡

函館市教育委員会提供

森町
鷺ノ木遺跡

森町教育委員会提供

入江貝塚

洞爺湖町

入江・高砂貝塚

洞爺湖町教育委員会提供

高砂貝塚

洞爺湖町教育委員会提供

キウス周堤墓群

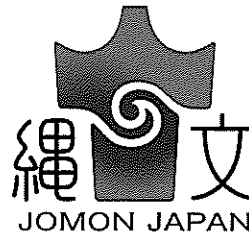
千歳市

北黄金貝塚

伊達市教育委員会提供

千歳市教育委員会提供

縄文遺跡群の
これからの活用を
考える



「北海道・北東北の縄文遺跡群」 世界遺産登録推進フォーラム

縄文遺跡群のこれから
～登録を見据えた活用を考える～

本フォーラムは「北海道・北東北の縄文遺跡群」に対する理解を深める機会として、
同遺跡群の世界文化遺産登録を見据えた、これからの活用について考えます。

令和3年3月7日(日)

13:00～15:30

札幌グランドホテル「金枝」

募集定員

80名

※事前申込制です

お申し込みは
こちらから



リモート開催について

自宅で、職場で無料参加できます

YouTubeライブによる同時配信

事前登録なしでどなたでもご覧いただけます

縄文遺跡群の これから

～登録を見据えた活用を考える～

令和3年3月7日(日) 13:00～15:30

札幌グランドホテル「金枝」

募集定員 80名 ※事前申込制です。

お申込方法

申込フォームまたは下記メールアドレスに氏名、
連絡先を明記の上お申込ください。

お申込期限: 3月3日(水)まで

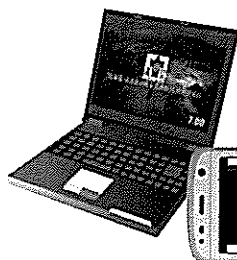
お申込
フォーム



リモート開催について

▶ YouTubeライブによる 同時配信

事前登録なしでどなたでもご覧いただけます



くわしくは
コチラで



道HPのQRコード

新型コロナウイルスの感染状況により、リモートのみの実施となる
可能性があります。あらかじめご了承ください。

第1部 基調講演 (13:10～14:00)

『縄文遺跡群と現代世界 — 縄文人から学ぶべきこと —』

講師: 北海道博物館長 石森 秀三氏

■略歴

1945年、兵庫県神戸市生まれ。専門は文化人類学、観光文明学、博物館学等。
京都大学人文科学研究所研究員を経て、1975年から国立民族学博物館研究部に勤務。
2004年から2006年まで同館文化資源研究センター長。現在、北海道博物館長、
国立民族学博物館名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授、
北海道大学観光学高等研究センター特別招聘教授、
北海道遺産協議会会長。

■主な著書

1985『危機のコスモロジー: ミクロネシアの神々と人間』福武書店
1999『博物館概論: ミュージアムの多様な世界』(放送大学教育振興会)
2011『エコツーリズムを学ぶ人のために』世界思想社(共編著)
2017『観光創造学へのチャレンジ』
北海道大学観光学高等研究センター(共編著)

ほか多数。



第2部 パネルディスカッション (14:10～15:30)

『縄文遺跡群のこれから

～登録を見据えた活用を考える～』

パネリスト

- 阿部 千春 (一財)道南歴史文化振興財団 アドバイザー
- 池ノ上 真一 札幌国際大学観光学部 教授
- 臼井 栄三 北海道教育大学 非常勤講師
- 戎谷 侑男 (株)シーピーツアーズ 代表取締役社長
(北の縄文道民会議事務局長)
- 佐賀 彩美 (一社)北海道開発技術センター 研究員

進行: 塚田 みゆき(北海道縄文世界遺産推進室長)

総合司会: 山口 由美(フリーアナウンサー)

同時
開催

チカホ北3条交差点広場で展示イベント
「縄文春まヨリ」を開催しています。
フォーラムにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

北海道・北東北を代表する土偶がチカホに集合!

縄文
春まヨリ
2021 in
チカホ

■出土品(レプリカ)展示

■パネル展示
世界遺産登録への取組
ARコンテンツなど紹介

■縄文トランス
プロジェクション

■自宅で楽しめる
「おうちで縄文ワークショップ」
資材を配布! など

とき 令和3年3月5日(金)～7日(日)
10:00～19:00
(初日は11:00から、最終日は17:00まで)

ところ 札幌駅前通地下歩行空間
北3条交差点広場



北海道環境生活部
文化局文化振興課
縄文世界遺産推進室

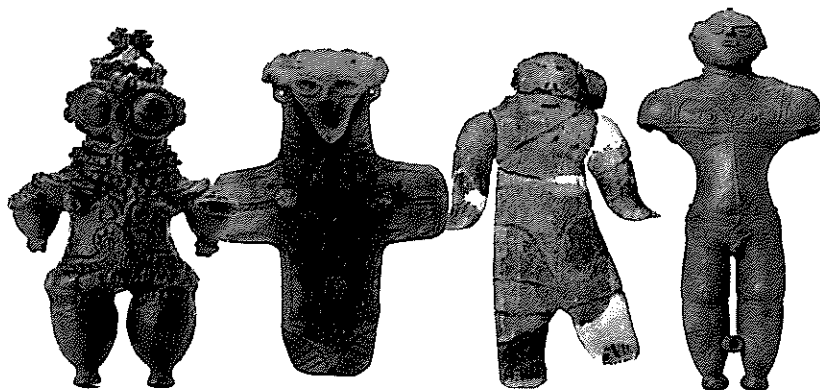
☎011-204-5168
kansei.bunka@pref.hokkaido.lg.jp

主催:北海道、縄文遺跡群世界遺産登録推進本部、北の縄文道民会議
縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す北海道議会議員連盟
協力:北翔大学、札幌国際大学、北海道埋蔵文化財センター

縄文 文 春 ま り 2021 in ちかホ



北海道・北東北を代表する
土偶がちかホに集合！



令和3年3月5日(金)～7日(日)
10:00～19:00
(初日は11:00から、最終日は17:00まで)



札幌駅前通地下歩行空間
北3条交差点広場

日本生命札幌ビル、赤れんがテラスすぐそば

縄文ソーシャル
ディスタンス実施中



「新北海道スタイル」に基づき、入場制限の
設定や北海道コロナ通知システムの
導入による感染症対策を
実施します。

縄文人の
高度な技術や
豊かな精神性を
間近でご覧
いただけます。

DOKI
DOKI



北海道・北東北を代表する 土偶がチカラに集合!

縄文人の高度な技術や豊かな

精神性を間近でご覧いただけます。

展示品

※展示品は全てレプリカです



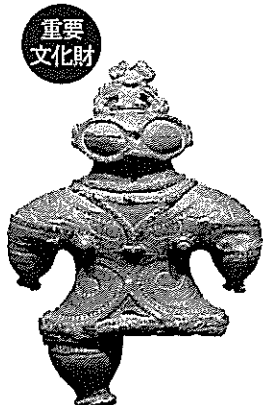
国宝

中空土偶
(函館市若保内野遺跡)
函館市所蔵



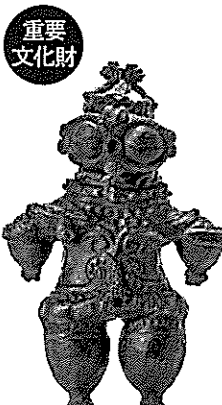
国宝

合掌土偶
(八戸市風張1遺跡)
是川縄文館提供



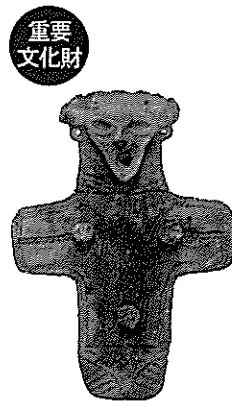
重要文化財

遮光器土偶(複製)
(つがる市亀ヶ岡石器時代遺跡)
つがる市教育委員会提供



重要文化財

遮光器土偶
(盛岡市手代森遺跡)
岩手県立博物館提供



重要文化財

大型板状土偶
(青森市三内丸山遺跡)
三内丸山遺跡センター提供

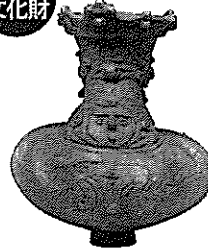


重要文化財

動物形土製品
(千歳市美々4遺跡)
北海道埋蔵文化財センター提供



土偶
(木古内町新道4遺跡)
北海道埋蔵文化財センター提供



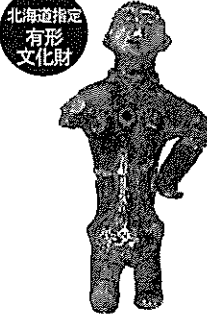
重要文化財

人形裝飾付異形注口土器
(北斗市茂辺地遺跡)
北斗市教育委員会提供



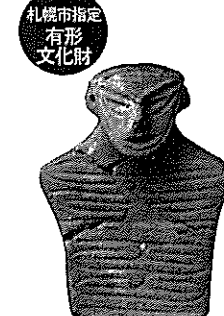
北海道指定有形文化財

土偶
(根室市初田牛20遺跡)
根室市教育委員会提供



北海道指定有形文化財

土偶
(新ひだか町静内御殿山墳墓群)
北海道博物館提供



札幌市指定有形文化財

土偶
(札幌市N30遺跡)
札幌市埋蔵文化財センター提供

パネル展示

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取組をパネルでご紹介。
また、道内の構成資産及び関連資産の特徴をクイズで学べるオリジナルARコンテンツを初展示します。

縄文トランスプロジェクション

北翔大学と北海道縄文世界遺産推進室が共同制作したメディア・アート作品。パネルの2列配置により奥行き感を演出した巧みな映像表現と、芸術学科生の自由な発想で創作された「アメコミ風縄文土偶ヒーロー」の圧倒的な存在感は必見です。
協力：北翔大学芸術学科小室研究室

おうちで縄文ワークショップ

おうちで楽しめるお持ち帰り用ものづくりキットを無料でお配りします。

協力：札幌国際大学縄文世界遺産研究室 北海道埋蔵文化財センター※配布数には限りがあります。予定数終了の際はご容赦ください。

